

児童が「桃太郎」題材に模擬裁判



静岡地裁は10日、夏休みの親子向けイベント「童話で学ぼう刑事裁判」を静岡市葵区の同地裁で開いた。市内外の小学4～6年の20人が裁判官、検察官、弁護士3者になりきり、童話「桃太郎」の登場人物を題材にした模擬裁判を体験した。

サルは有罪？無罪？

鬼退治を終えた桃太郎が、営むきび団子店で、きび団子が盗まれる窃盗事件が発生。仲間として鬼退治に同行したはずのサルが逮捕され、被告人として初公判に臨む――との状況を設定した。児童は現役の裁判官と検察官、弁護士に手ほどきを受けながら、起訴状の朗読や証人尋問など二連の刑事裁判の流れを実践。法服

静岡地裁

を身にまとった裁判官役の
児童8人は検察側、弁護側
の主張を基に協議し、最後
に判決を言い渡した。

裁判官役を体験した静岡大付属静岡小6年の村松眞治君(11)は、「(検察側と弁護側の)話を聞いてどっちが正しいかを判断するのは難しかった。責任の重さを感じた」と話した。

〔社会部・木村祐太〕

法廷で模擬裁判に臨む児童ら

|| 静岡地裁

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①記事の「模擬裁判」は何に登場する人物(動物)を題材にしていますか。()
- ②「法曹三者」とは、何を指しますか。記事から読み取って書きましょう。
() () ()
- ③「刑事裁判」ではどんなことが行われますか。記事にある例を書きましょう。
()
- ④「裁判で大切にすべきこと」は何だと思いますか。記事を参考にあなたの考えを30字以内で書きましょう
(句読点を含みます)。

[illegible]

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏
(小学校高学年～中学校／社会、総合)

名前 組 年

児童が「桃太郎」題材に模擬裁判



静岡地裁は10日、夏休みの親子向けイベント「童話で学ぼう 刑事裁判」を静岡市葵区の同地裁で開いた。市内外の小学4、6年の20人が裁判官、検察官、弁護士の法曹三者になりきり、童話「桃太郎」の登場人物を題材にした模擬裁判を体験した。

サルは有罪？無罪？

法廷で模擬裁判に臨む児童ら

＝静岡地裁

（社会部・木村祐太）

鬼退治を終えた桃太郎が営むきび団子店で、きび団子が盗まれる窃盗事件が発生。仲間として鬼退治に行したはずのサルが逮捕され、被告人として初公判に臨む。この状況を設定した。児童は現役の裁判官と検察官、弁護士に手ほどきを受けながら、起訴状の朗読や証人尋問など一連の刑事裁判の流れを実践。法服を身にまとった裁判官役の児童8人は検察側、弁護側の主張を基に協議し、最後に判決を言い渡した。

静岡地裁

裁判官役を体験した静岡大付属静岡小6年の村松真治君（11）は「（検察側と弁護側）話を聞いてどっちが正しいかを判断するのは難しかった。責任の重さを感じた」と話した。

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①記事の「模擬裁判」は何に登場する人物（動物）を題材にしていますか。（ **童話「桃太郎」** ）
- ②「法曹三者」とは、何を指しますか。記事から読み取って書きましょう。
（ **裁判官** ）（ **検察官** ）（ **弁護士** ）
- ③「刑事裁判」ではどんなことが行われますか。記事にある例を書きましょう。
（例）起訴状の朗読、証人尋問、判決の言い渡し など
- ④「裁判で大切にすべきこと」は何だと思いますか。記事を参考にあなたの考えを30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。
（例）・検察側と弁護側の話をよく聞いてどちらが正しいか判断すること。（30字）
・裁判には重い責任が伴うことを自覚して臨む必要があること。（28字） など

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏
（小学校高学年～中学校／社会、総合）

年 組 名前